

令和5年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立岐阜本巣特別支援学校

学校番号	105
------	-----

自己評価

学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・夢の実現に向け、自ら学び自ら考え、生き生きと豊かに表現できる児童生徒を育成 ・自他を尊重し、学校や地域で生き生きと生活できる児童生徒の育成 ・運動に親しみ、心身ともに健康で、明るく元気な児童生徒の育成
評価する領域・分野 教育活動・学習活動	<p>健康支援（※番号は学校評価のアンケート項目）</p> <p>19：学校は、手指衛生等の一般的な感染症対策を講じるとともに、医療機関と常に連携を図って、児童生徒の健康管理に気を配っている。</p> <p>20：学校は、児童生徒の安全に気を配り、緊急時の対応がしっかりしている。</p>
現状及びアンケートの結果分析等	<p>19：あてはまる 93% あてはまらない 2% わからない 5%</p> <p>20：あてはまる 93% あてはまらない 2% わからない 5%</p> <p>・どちらの項目でも概ね良い評価だった。一方で、「わからない」「あてはまらない」の回答が一定数あった。今後も継続して学校からの通信やメール等で取組内容を周知していく必要があると考えられる。</p>
今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・健康で安心・安全な生活を送るための意識や行動を身に付けることができるよう支援の充実を図るとともに、望ましい校内環境を整える。 <p><保健安全支援></p> <p>一人一人の健康状態を把握し、健康・安全に配慮した教育環境や、危機管理体制の整備と改善に努め、安心・安全な学校生活を送ることができるよう支援する。</p> <p><給食支援></p> <p>安心・安全に給食を食べることができるよう適切な衛生管理に努め、給食運営を行うとともに、食に関する啓発活動と、児童生徒の障がいの状態や発達段階等を踏まえた摂食支援活動を推進する。</p> <p><保健体育支援></p> <p>児童生徒の障がいの状態や発達段階を踏まえ、それらに応じた体育的活動や性教育をはじめとする保健指導を推進し、体力の向上と心身の健康の保持増進を図る。</p>
重点目標を達成するための校内組織体制	<ul style="list-style-type: none"> ・保健主事、養護助教諭を中心に、管理職や担任、必要に応じて栄養教諭、体育科、看護師、学校医、医療的ケア指導医、学校薬剤師等と連携する。
目標の達成に必要な具体的な取組	<ol style="list-style-type: none"> 1 これまでの感染症対策を継続し、その内容や変更・追加点を保護者案内やすぐメールで定期的に保護者へ伝える。また、保健だよりで感染症への注意喚起の内容を取り入れ、積極的に周知していく。緊急時対応については、養護助教諭や看護師と対応を再確認するとともに、保護者への迅速な連絡の徹底と、管理職と連携した対応決定を行う。 2 適切な衛生管理下での給食運営を継続するとともに、給食だより、献立表の配付、高等部玄関前のホワイトボード掲示等を通して食事への興味・関心を高め、食事のマナーや望ましい食習慣の啓発を行う。 3 児童生徒の発達段階や課題を踏まえた体育的行事、体育的活動、保健指導を検討し、実施する。
達成度の判断・判定基準あるいは指標	<ol style="list-style-type: none"> 1 健康状態の把握や感染症対策の実施等により、安全で安心した学校生活を送るための児童生徒・職員の意識や生活様式の向上・改善ができたか。また、保護者への感染症対策の周知や、緊急時の迅速な対応や連絡ができたか。

	<p>2 給食センターと連携して、安心・安全な給食提供や感染症対策を講じた適切な衛生管理下での給食運営や、食に関する啓発を行うことができたか。</p> <p>3 感染症発症者や事故が無く、実態に応じた体育的行事や体育的活動を行うことができたか。また、必要に応じた保健指導を行うことができたか。</p>
取組状況・実践内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策の継続 ・保健だよりでの感染症対策の周知 ・緊急時対応の再確認や、周知の徹底 ・安心・安全な給食提供、異物混入時の対応
評価の視点	評価
① 児童生徒の健康状態の把握や感染症対策を行い、それに応じた支援ができたか。	A (B) C D
② 保護者や関係諸機関等と連携を図り、児童生徒の実態に応じた対応ができたか。	A (B) C D
③ 職員の共通理解を深め、健康支援に関する意識を高めることができたか。	A (B) C D
成果・課題	総合評価
<ul style="list-style-type: none"> ○ 昨年度からの感染症対策を継続して実施することができた。また、感染状況に応じて対策の一部を変更したり、内容を追加したりして対策を講じることができた。 ○ 栄養教諭や給食センターと連携し、安心・安全な給食提供を行うことができた。 ▲ 予定していた性教育の研修を実施することができなかった。また、それに関する相談業務を十分に実施することができなかった。 	A (B) C D
来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> ・ 季節や周辺地域の状況等に応じて、インフルエンザやノロウィルス等の感染症対策の徹底を図る。また、それらを十分に踏まえた体育的活動の検討や実施をする。 ・ 性教育の充実に向けて、相談体制の確立や研修会の計画、運営を実施する。

学校関係者評価 (令和6年2月27日実施)

意見・要望・評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急対応はもちろん、保護者への迅速な対応が良い。医療的ケア児などが在籍し、多様な対応が求められるが、引き続き取り組んでほしい。